



最新式統合型地震速報システムのご提案

～直下型地震検知器と緊急地震速報の連動により全ての地震で正確に警報～



緊急地震速報受信装置 (SignalNow Lite)

+

連動

EQ-Hunter



地震検知器とEQ-Hunter中央処理装置

1. 緊急地震速報が間に合わない場合でも（概ね震源半径30Km以内）、
「直下くん」はP波感知時点でP波情報から一定規模以上の震度になるか否かの判断を行い緊急警戒を出力
2. 緊急地震速報が先行受信した場合（概ね震源半径30Km以上）は、「緊急地震速報受信装置」が即座に緊急警報を出力
3. 万が一インターネット回線不調等で緊急地震速報の伝達が出来ない時でも「直下くん」が有れば独自の地震速報情報で補完
4. 地震発生中（揺れている最中）は直下くんによるリアルタイム震度で常に情報を出力するので避難中の不安な状況下でも冷静に状況の把握ができる。又、揺れの終息を検出できるので、2次避難行動アナウンスが自動化できる
5. 地震終息後は履歴保存されたリアルタイム震度データにより一連の地震による被害想定としてBCP対策の重要な情報を提供
6. 機器制御に必要な情報（緊急停止／稼働）を複数の接点信号にて出力（緊急地震速報受信装置&直下くんの接点を利用）



緊急地震速報受信端末装置の販売及び地震防災システムの開発と各種サービス

株式会社TAOソリューションズ

〒186-0003 東京都国立市富士見台1-3-9 富士ビューマンション102

TEL:042-507-4352 FAX:042-507-7693

<http://www.taosolutions.co.jp> info@taosolutions.co.jp

新たな地震防災システムへ



1. 緊急地震速報の通報遅れ等の技術的限界をカバー

3方向加速度センサー搭載の地震計（直下くん）との連動により、直下地震や震央から30km以内の地震では1秒以下で検知／警戒情報を通報

2. リアルタイム震度による正確な情報通報

緊急地震速報による予想震度ではなく設置場所のリアルタイム震度で正確な情報を把握

3. 誤報防止

緊急地震速報と“直下くん”独自の地震検知処理により、確実な地震検知が可能

4. 揺れている最中と終息時の避難誘導

揺れている最中にもリアルタイム震度を発報し安全確保誘導するとともに揺れの終息も検知し、更なる2次避難誘導を指示

5. 被害想定に利用可能な情報提示

揺れている間のリアルタイム震度を常時（100ms毎）記録し、一定以上震度の継続時間により被害状況が予測可能

6. 不安定なインターネット回線を補完

緊急地震速報の情報伝達で利用されているインターネット回線が不調・切断時には気象庁から緊急地震速報が発報されても伝達されないが、万が一の時も“直下くん”が警戒情報を通報

「駿河湾の地震」による“直下くん”地震検知と緊急地震速報(気象庁配信)の比較

株式会社シグネット提供

観測場所:「焼津」 震央距離:18.4km 計測震度:5.4=5強

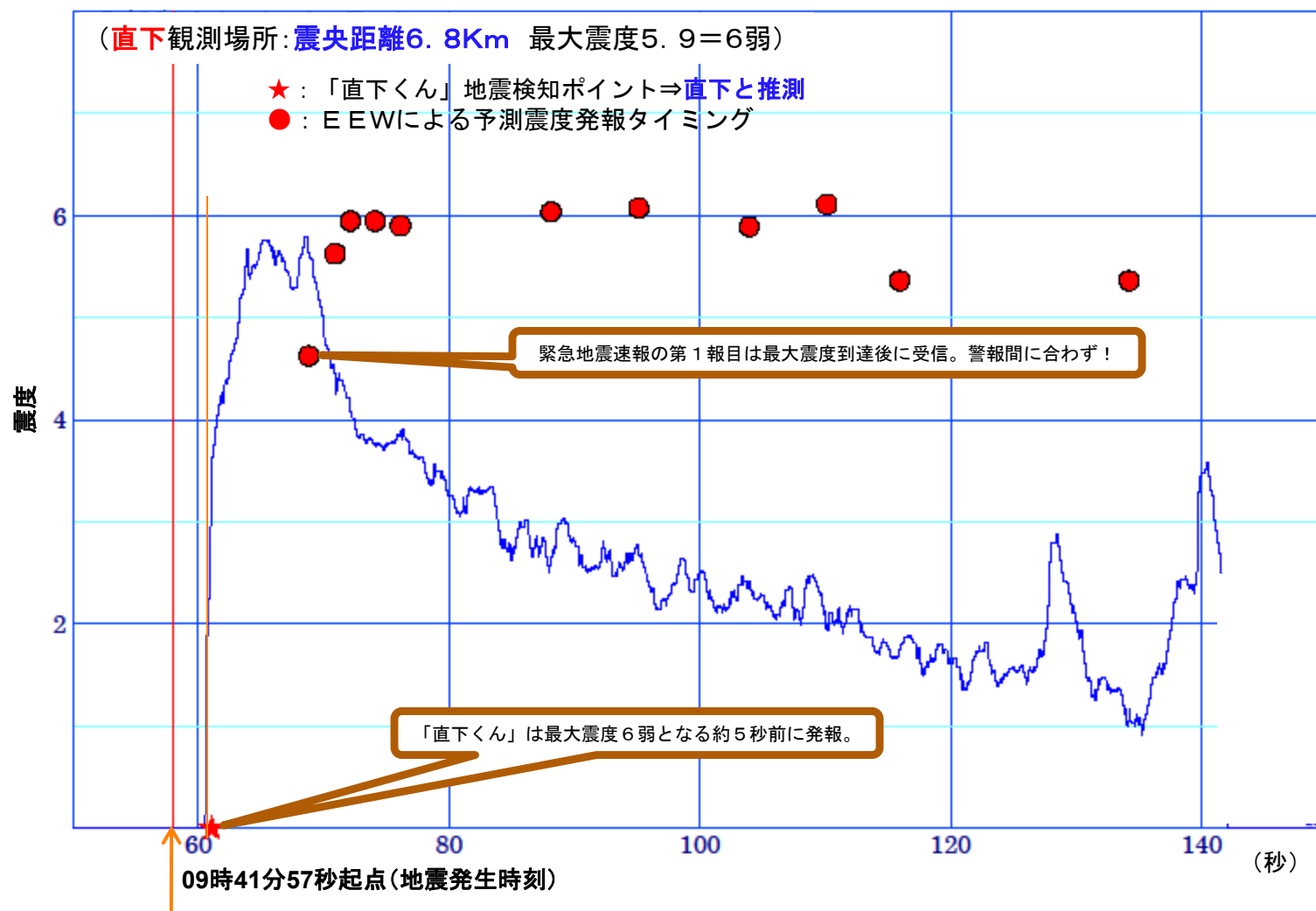
★:「直下くん」地震検知ポイント

●: EEWによる予測震度発報タイミング ○内の数値はEEW受信連番

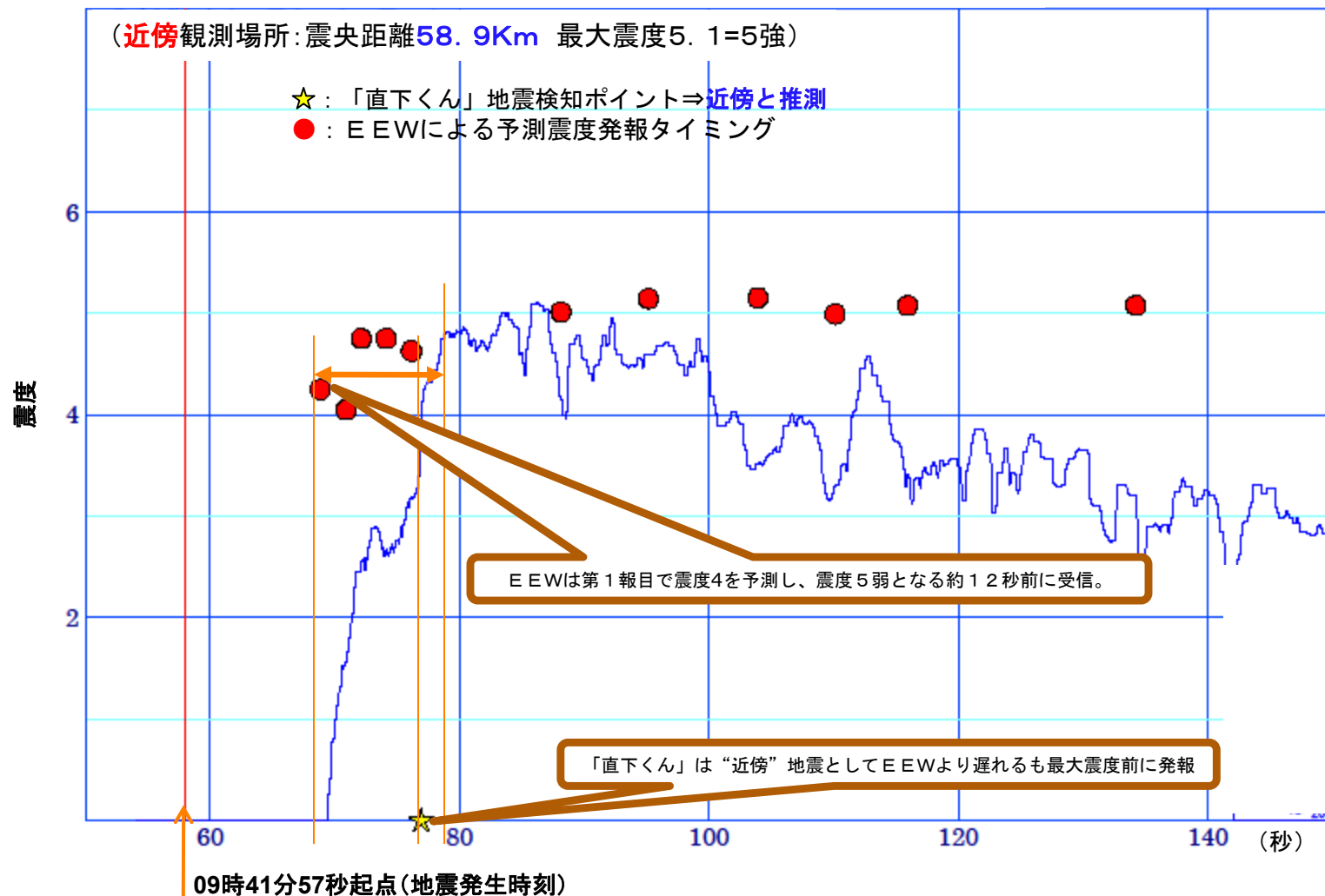


「能登半島沖地震」による「直下くん」と緊急地震速報の比較(直下くん先行の例)

2007/3/25 09:41:57 マグニチュード6.9

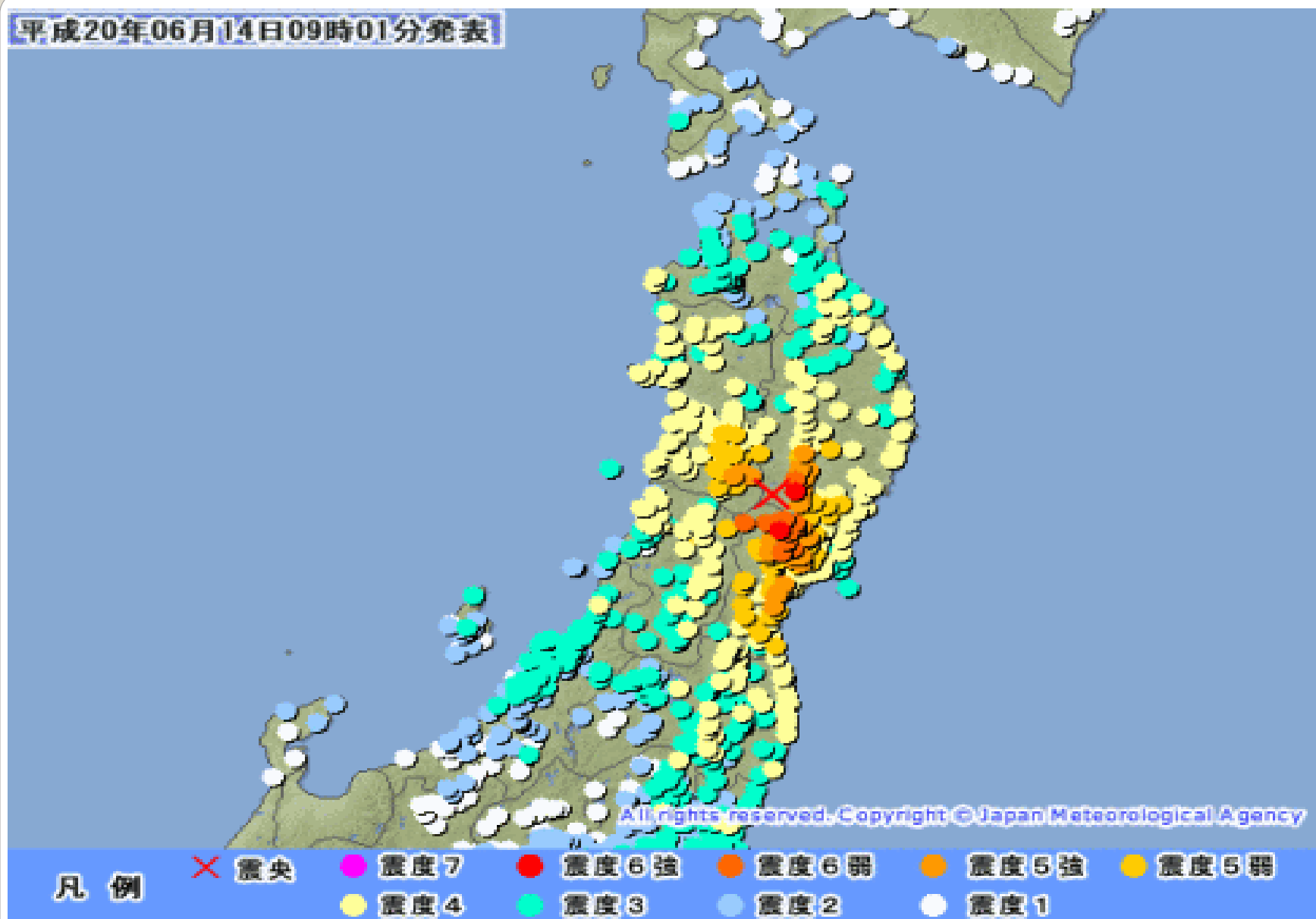


「能登半島沖地震」による「直下くん」と緊急地震速報の比較(緊急地震速報先行の例)
2007/3/25 09:41:57 マグニチュード6.9



「2008/06/14 08:43岩手・宮城内陸地震」震度分布図

平成20年06月14日09時01分発表



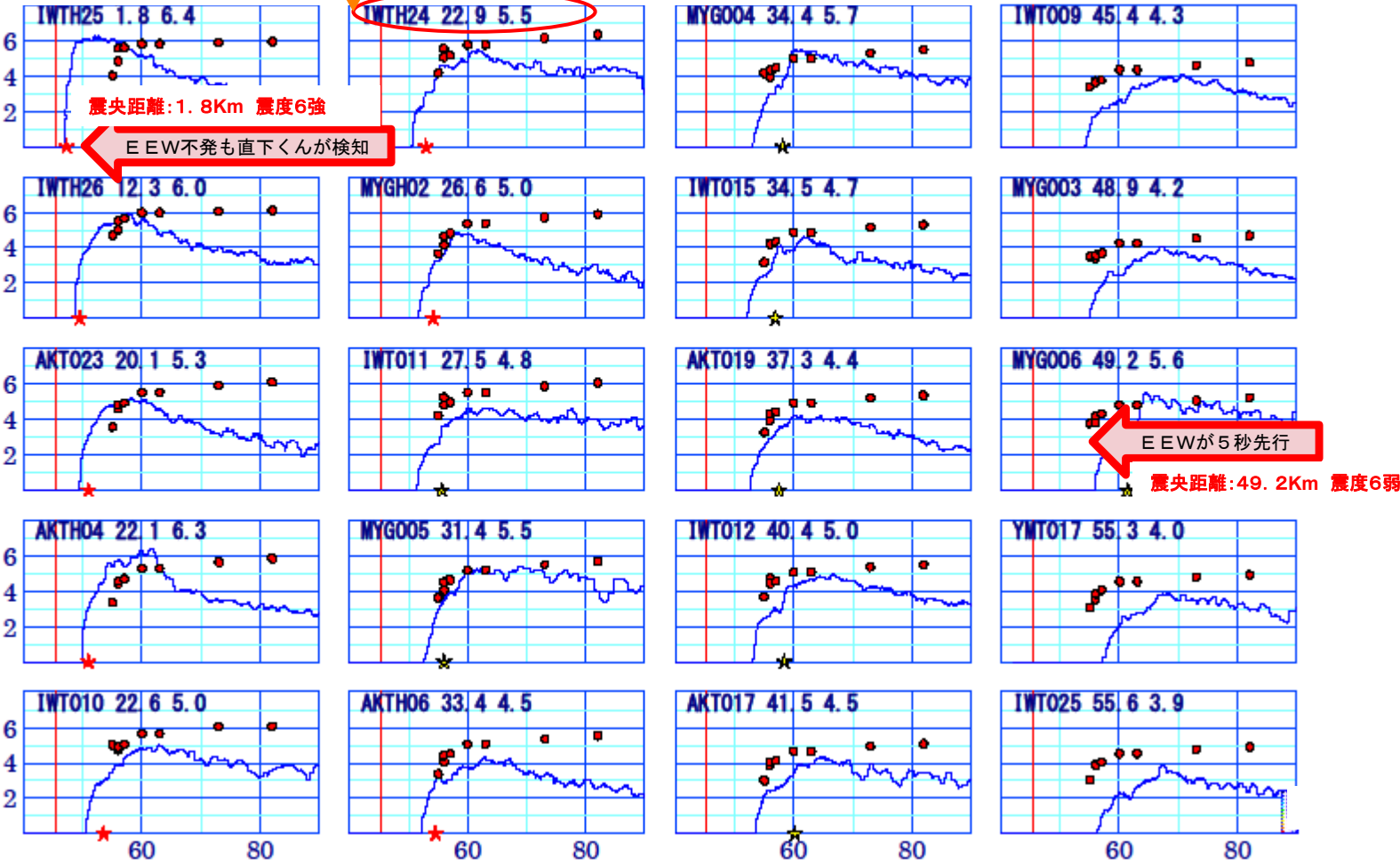
「2008/06/14 08:43岩手・宮城内陸地震」による直下地震検知器とEEWの比較

株式会社シグネット提供

- ★ : 「直下」地震検知
 - ★ : 「近傍」地震検知
 - : EEWによる予測震度
- 直下くんの信号

各グラフの文字列：観測点コード 震央距離km 計測震度

震度 (全グラフ共通)



時刻 (秒 全グラフ共通)